

Stand UP! NO.1

2016年7月29日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 直 部

第30回定期全国委員会



貨物労組青年部は7月18日～19日に東京・シーサイドホテル芝弥生にて『第30回定期全国委員会』を開催し、委員、傍聴、来賓、準備委員、中央常任委員の約120名が結集しました！

冒頭、佐久間青年部長はあいさつで、青年部員が会社からの事情聴取の直後に自ら命を

絶った事態について、会社に対しては事情聴取の在り方や「責任追及」の姿勢を青年部から質していくとともに、組合組織として仲間に何かあったらすぐにフォローし合える青年部組織を創り上げ、このような悲劇を二度と起こさないようにしていこうと提起しました。また、「2年間に及ぶ『たしろかおる応援プロジェクト』は残念な結果となった。状況は厳しいが下を向く必要は無い、今選挙では東北、沖縄で民意が示された結果となった。これは声をあげ続けた人がいたからこそ。私たちも声をあげ続けた結果、中途採用の実施、春闘での1号俸をかちとった。今定期委員会では職場での苦闘を共有し、新たに始まるたたかひの弾みになる定期委員会にしよう！」と力強くあいさつをしました。



質疑応答では31名の委員から発言があり、16春闘、期末手当闘争、「たしろかおる応援プロジェクト」の職場からの実践、苦闘や悩みなどが出されました。また、世界初の共用走行となった北海道新幹線開業に伴う問題点、いまだに線量が高い常磐線での運転再開、保全職場での超勤問題等の業務問題や、慢性的な要員不足の実態、転勤の問題など職場で発生している問題が改めて鮮明となりました。本部青年部ではこの切実な声を会社へ突き付け、改善に向けて奮闘していきます！

質疑応答のあとは中央本部・村上教宣部長から感想を頂き、黒澤事務長の総括答弁のあと佐久間青年部長の団結ガンバロー！で委員会を終了しました。今定期委員会では新たに関東から副部長2名が選出され、佐久間体制は6人で3年目のスタートを切りました。職場からのたたかひ、組織強化に向けてまた1年尽力していきます！よろしくお祈りします！！



| | | | |
|-------|--------|-----|----------|
| 青年部長 | 佐久間 晃史 | 30歳 | 東京貨物(夕)駅 |
| 副青年部長 | 八文字 隆二 | 32歳 | 隅田川機関区 |
| " | 後藤 修一 | 28歳 | 郡山車両所 |
| " | 池田 甫 | 30歳 | 隅田川機関区 |
| " | 鈴木 謙仁 | 30歳 | 黒磯機関区 |
| 事務長 | 黒澤 進也 | 31歳 | 東京貨物(夕)駅 |
| 会計監査 | 高橋 英嗣 | 25歳 | 新鶴見機関区 |
| 会計監査 | 勅使河原 禎 | 26歳 | 愛知機関区 |

※中央常任委員は各地本青年部長